

# 要 望 事 項

会派名 公明党

事 業 名	内 容 説 明
<p>コロナ対策と予防接種事業の充実</p>	<p>コロナ禍において、季節性インフルエンザの流行にも備える必要がある。高齢者や医療従事者は勿論の事、子供のインフルエンザ予防接種は例年よりも増して徹底されるべきであると考え。しかし、子供のインフルエンザ予防接種は任意接種であり年齢によっては2回接種しなければならない。多子世帯にあっては更に家計を圧迫する。希望する全ての子供がインフルエンザ予防接種を受けられる様、支援を要望する。尚、発熱症状の際、必要に応じ新型コロナウイルスのPCR検査も並行して実施出来る様な体制整備も希望する。</p>
<p>コロナ禍における避難所運営について</p>	<p>現在、気候変動等により想定外の災害が発生する可能性がある。その際、必要に応じ柔軟に避難所開設をしなければならない。多種多様な状況に即時に対応する為には、事前に新型コロナ等の感染症対策も想定した避難所運営の構築が必要不可欠である。一日も早い準備を要望する。</p>
<p>自治体のデジタル化についての調査研究</p>	<p>現在、国に於いて行政のデジタル化を推進している。従来の技術や慣習を前提とした行政体制を変革。SOCIETY 5. 0に於ける技術の進展をより最大限活用し、時間・場所を問わず迅速・正確な行政サービスの提供を推進している。行政手続きのオンライン化をはじめ地方行政のデジタル化は、住民が迅速・正確に行政サービスを楽しむ為に不可欠。今後、当市の現状を踏まえ、国の目指している処とのギャップを埋めるべく調査研究をする必要がある。</p>
<p>幼稚園・保育園・こども園への民間活力導入</p>	<p>少子化社会の昨今、幼児教育の無償化も実施され、幼児の保育教育環境もより安定的になった。更に継続的にしていく為には官民の更なる連携が必要である。殊に、民間活力を有機的に活用していく事が、未来の宝である子供達を育む良質な環境づくりに寄与。また、子供達にとっての最高の教育環境である職員の社会的身分保障の確保も必要不可欠である。一步前進を目指し市当局と議会との協力が必要である。</p>
<p>選択と集中</p>	<p>昨今の社会・経済情勢の変化の中、今まで以上に事業の「選択と集中」が重要で必要となっている。市民の皆様の理解を得る為、市民の皆様の幸福感の増大の為には、市当局と議会が一体となり、多種多様・長期的視野にたち、知恵を絞り協力をする事が必要不可欠である。誰一人取り残さない自治体運営をする為にも総合的観点から必要不可欠。公共施設等総合管理計画等々も含め、総合的優先順位を定め推進していく必要がある。</p>